

# 歯科診療行為のタイムスタディー調査

2019年度版

(中間調査)

令和2年4月

日本歯科医学会

## タイムスタディーワーキンググループ (WG)

- 座 長 小林隆太郎 (日本歯科大学附属病院口腔外科教授)
- 委 員 内川喜盛 (日本歯科大学附属病院小児歯科教授)
- 同 小木曾文内 (日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座教授)
- 同 木下淳博 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科  
教育メディア開発学分野教授)
- 同 佐藤裕二 (昭和大学歯学部高齢者歯科学講座教授)
- 同 外木守雄 (日本大学歯学部口腔外科学講座教授)
- 同 新田 浩 (東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部教授)
- オブザーバー 小野沢真一 (東京都開業)

### 【本WGの開催状況】

(令和元年度)

第1回 平成31年3月28日(木)

第2回 令和元年5月14日(火)

第3回 令和元年6月20日(木)

(令和2年度)

第1回 令和2年1月10日(金)

# 目 次

はじめに .....	1
調査資料および調査方法 .....	1
調査結果 .....	2
おわりに .....	4

## 【付表】

表1 調査医療機関 .....	5
表2 調査票回収結果と回収・集計調査票数内訳 .....	6
表3 診療項目と時間計測範囲等 .....	7
表4 診療項目の所要時間 .....	9
表5 診療項目の所要時間と保険診療報酬等 .....	11

## 【参考】

保険診療報酬評価（人件費を加味した評価） .....	13
代表的な一連の歯科医療行為の総所要時間と保険診療報酬評価 （人件費を加味した評価） .....	16

## はじめに

---

世界に類を見ない速さで人口の高齢化が進む中で、政府の2019年度の「経済財政運営と改革の基本方針」においても明記されているとおり、人生100年時代を前提として医療・保健・福祉に関する新たな施策が策定されている。この中で、口腔の健康は全身の健康にもつながることから、2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上とすることを目指すという健康寿命延伸プランにおいて、歯科も、そのエビデンスの信頼性を向上させつつ、国民への適切な情報提供をはじめ、充実した歯科保健医療提供体制を構築することが求められている。そのような状況の中で、現実の歯科医療がどのように行われているか、その実態の把握は今後の歯科診療の施策を考える上で必要不可欠なことである。

日本歯科医学会は、1992年6月22日に初めてプロジェクトチームの会合を開催し、以降、歯科診療の主要部分である、外来診療（一般開業医）における診療項目に要する所要時間の計測をタイムスタディー調査として行い、1996年、2005年、2011年、2017年にその調査報告を公表している。いうまでもなくタイムスタディーは、歯科診療評価のうちドクターフィー的要素とされる技術料関係部門の重要な因子として位置づけられている。今後ともエビデンスに基づいた医療技術評価に係わる提案を行うためには、特に、前回調査を行った2016年度以降に行われた2回の診療報酬改定において導入された新病名、手法、器材等の新たな診療項目についてのエビデンスを収集することが必要である。

そこで、本学会では、次回のタイムスタディー本調査を予定する2022年度までの中間年に当たる令和元年（2019年）に2016年、2018年の診療報酬改定における新規診療項目に重点を置いたタイムスタディー調査（中間調査）を実施することとした。

今回の調査では、大学附属病院の歯科医師、歯科衛生士を調査員としたが、前回調査同様に研修歯科医は調査員から除外した。

## 調査資料および調査方法

---

### 1. 調査の概要

本調査は2019年6月に日本歯科医師会理事会、7月に本学会理事会において調査することが決定された歯科診療行為の診療項目についてのタイムスタディー調査である。

### 2. 調査方法

#### 1) 調査員（歯科医師、歯科衛生士）

本調査の調査員としては臨床経験5年以上の歯科医師とし、調査依頼先医療機関は全国歯科大学・大学歯学部 に附置されている30附属病院（表1）である。

なお、歯科衛生実地指導等にあたる調査員（歯科衛生士）は、臨床経験3年以上とした。そのほか、診療の介助者については各医療機関に所属する歯科衛生士、歯科助手などに依頼したがその資格、経験については特に指定はしていない。

## 2) 調査期間および調査対象者（患者）

調査期間は2019年9月2日から10月31日迄の約2か月間、上記の医療機関を訪れた患者のうち、典型的な歯科疾患および診療項目を有し、調査の目的に理解、協力のあった者に依頼し実施した。在宅歯科診療についてもほぼ同様であるが、個々の診療項目の詳細な時間計測は診療に支障が生じる可能性に鑑み、指定した診療項目のみ器材準備から処置終了までに要した合計時間を計測するようにした。

調査票回収結果と回収・集計調査票数内訳は表2に示すとおりである。

## 3) 調査項目

調査項目は平成30年度診療報酬改定新設診療項目と2016年度版タイムスタディー調査の診療項目の中から再調査が必要と判断したものとした。（表3）

また、症例は、調査目的に照らして、普遍的で典型的な歯科症例を調査員自身の裁量で選択し、本調査の主旨を理解、承諾した患者について実施した。また、特別な配慮を要する患者あるいは症例については除外することにした。しかし、診療の際に難症例と判定されるものもあり、その場合の取り扱いについては調査員にまかせることとした。

なお、1人の患者で複数の症例を測定した例もある。

## 4) 診療時間の測定と評価

- (1) 診療時間の測定は、診療時間の時間計測範囲（表3）に沿って開始から終了まで、調査員が1人の患者に専念して測定した。
- (2) 測定にあたっては歯科医師1名、介助者1名、さらに可能な場合はタイムキーパー1名を加えた体制で行った。
- (3) この診療時間については、分単位で計測し、秒はすべて切り上げとした。
- (4) 診療中に必要となる技工作業についてもチェアタイムに付随するものとして測定した。なお、通常の院内・外注技工時間はともに測定の対象外とした。
- (5) 歯周処置やブリッジなど部位単位で処置する場合は、処置歯数で所要時間を除し、1歯あたりの時間として評価した。

## 5) 調査成績の集計

調査成績の集計については、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教育メディア開発学分野および株式会社社会保険研究所に依頼した。

## 6) 本調査は日本歯科医学会研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

(2019年6月21日付通知、受付番号014)

# 調査結果

---

1. 表1 調査医療機関
2. 表2 調査票回収結果と回収・集計調査票数内訳
3. 表3 診療項目と時間計測範囲等

4. 表4 診療項目の所要時間
5. 表5 診療項目の所要時間と保険診療報酬等
6. 参考 代表的な一連の歯科医療行為の総所要時間と保険診療報酬評価（人件費を加味した評価）

## 1. 調査医療機関

表1に、調査医療機関を示した。大学病院（29 歯科大学 30 医療機関（附属病院））に調査依頼を行った。

## 2. 調査票回収結果と回収・集計調査票数内訳

表2に、調査を依頼した機関のうち調査票を提出した機関は、30 大学病院中で30 医療機関（回収率100%）であった。

回収・集計できた調査用紙は合計1,120枚であった。なお、小児歯科においては、患者年齢を6歳以上・未満で分類して行った。

## 3. 診療項目と時間計測範囲等

表3に、診療内容に対しての「歯科点数表の区分」、「診療項目名」、「保険点数」、「時間計測範囲」を示した。「診療項目」は平成30年度診療報酬改定新設診療項目と前回の2016年度版の診療項目の中から必要と思われるものを再調査した。表3の「保険点数」に関しては基本となる所定点数を基準に、通則の加算、注の加算を加味した内容を記載した。また「時間計測範囲」については、調査者がより理解、把握しやすい文言とした。

## 4. 診療項目の所要時間

表4に、大学病院の「診療項目」、「保険点数」、「件数」、「所要時間（平均値、標準偏差、中央値）」を示した。診療項目は、計38項目であった。

「所要時間」の結果について、中央値を確認することで平均値の信頼性が把握できると思われた。「件数」においては計測可能であったものをみると、最小3、最大108の結果となった。件数10以下については今後調査数を増やし、より統計的観察ができるような考慮が必要と感じた。

## 5. 診療項目の所要時間と保険診療報酬等

表5に、診療項目の所要時間と保険診療報酬等に係る内容として1点当りの時間（分）、1分当りの点数を記載した。診療項目は歯科点数表の区分B（医学管理等）～N（歯科矯正）の並びとした。

本調査は診療項目の所要時間のみを調査するものであることより、社会保険診療報酬に直接的な意見を述べることは適切ではないと思われる。何故ならば社会保険診療報酬の算定には所要時間、技術度を含むドクターフィー的要素のほかにホスピタルフィー的要素とされる因子があり、これには歯科医院に働く医療従事者の人件費、診療器材、技工料、施設運営の必要経費などがある。とくに歯科診療の特性として大きな比率を占める材料費、技工費がかかっている。したがって社会保険診療報酬の分析にあ

たっては、ドクターフィー的要素の調査だけでなく、ホスピタルフィー的要素の調査も踏まえた総合的な分析でなければならないことは当然である。

ドクターフィー的要素をもとに、診療項目の所要時間という観点から、社会保険診療報酬との関係を検討してみた。その方法論はいくつか考えられるが、2016年度調査と同様に本調査の主要部分である所要時間に着目し、歯科診療報酬1点あたりの所要時間、あるいは、所要時間1分あたりの歯科診療報酬点数として算出してみた。ここでは、調査がタイムスタディーであることから所要時間1分あたりの計算値を用いた。

なお、周知のように保険診療報酬は技術料、製作料および材料料などから構成されている。しかし本調査項目の保険点数がほとんど技術料のみであることから分析は各調査項目の保険点数のみで行った。

その結果、各歯科点数表の区分で所要時間1分あたりの保険診療報酬は1.3～67.8点とかなりの差があることが分かった。調査件数は、最小3、最大108であり、10未満の項目が9件あった。

## 6. 参考 代表的な一連の歯科医療行為の総所要時間と保険診療報酬評価（人件費を加味した評価）

本調査はこれまで（1995年度、2004年度、2010年度、2016年度）と同様に歯科診療項目のタイムスタディーという観点からなされたもので、その結果、大学病院における詳細なデータが収集された。しかし、それらはあくまでも個々の診療項目の比較に留まり、それを集合して成立する症例治療としての評価はなされていない。

そこで本調査の資料をさらに活用することを目的として、歯科診療の代表的な診療行為について多くの症例を提示して、総所要時間と保険診療報酬評価に人件費を加味しての評価を「参考」として試みた。

その結果、保険点数×10／人件費の比率について、診療項目を統合して成立する一連の診療行為（症例）として評価すると、その値は0.03～0.87となり、すべての症例において人件費を加味すると、保険点数は人件費からみてかなり低水準の評価となることが明らかとなった。

前述したように、このタイムスタディーのみで保険診療報酬の評価について強く言及することはできないが、歯科医師の稼働時間、人件費の両面から見ても保険診療報酬体系が不均衡になっていると思われる。

日本歯科医学会は、今後も、今回のような調査を定期的に継続して実施することで、歯科診療の実態を把握するための調査資料を蓄積し、中医協等関係方面における技術評価にかかる提案等に資する資料を提供していくとともに、歯科診療問題に積極的にかかわって行く必要があると考えている。

## おわりに

---

本調査の目的である歯科診療行為の診療項目のタイムスタディー調査という観点から歯科診療の実態の一部が明らかになってきた。本調査はタイムスタディーで得られた直接的なデータを中心に集計した資料である。この資料を基礎として、さらに多くの協議、調査にご活用頂ければ幸いである。

謝辞 稿を終わるに際し、多忙な日常臨床において大学病院での業務を犠牲にして、本調査にご協力を頂いた調査員の方々に深謝申し上げます。

タイムスタディーワーキンググループ  
座長 小林隆太郎

## 表 1 調査医療機関

大学病院：30 医療機関に依頼

大学病院名	大学病院名
北海道大学病院	松本歯科大学病院
北海道医療大学病院	新潟大学医歯学総合病院
岩手医科大学附属病院	日本歯科大学新潟病院
東北大学病院	愛知学院大学歯学部附属病院
奥羽大学歯学部附属病院	朝日大学医科歯科医療センター
東京歯科大学水道橋病院	大阪大学歯学部附属病院
東京歯科大学市川総合病院	大阪歯科大学附属病院
日本大学松戸歯学部附属病院	岡山大学病院
明海大学歯学部附属明海大学病院	広島大学病院
東京医科歯科大学歯学部附属病院	徳島大学病院
日本歯科大学附属病院	九州大学病院
日本大学歯学部附属歯科病院	九州歯科大学附属病院
昭和大学歯科病院	福岡歯科大学医科歯科総合病院
鶴見大学歯学部附属病院	長崎大学病院
神奈川歯科大学附属病院	鹿児島大学病院

表 2 調査票回収結果と回収・集計調査票数内訳

1) 調査票回収結果

依頼診療機関数	30
提出診療機関数	30
未提出診療機関数	0
回収率	100%

2) 回収・集計調査票数内訳

領 域	調査票数
診療情報連携共有文書作成	47
小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料	21
小児保隙装置の製作（クラウンループ）・（6歳未満の患者）	9
小児保隙装置の製作（クラウンループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	20
小児保隙装置の製作（バンドループ）・（6歳未満の患者）	16
小児保隙装置の製作（バンドループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	35
小児保隙装置の装着・（6歳未満の患者）	20
小児保隙装置の装着・（6歳以上12歳未満の患者）	40
咀嚼能力検査（口腔機能低下症における）	73
咬合圧検査（口腔機能低下症における）	38
舌圧検査（口腔機能低下症における）	83
有床義歯咀嚼機能検査（下顎運動測定）	23
有床義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力測定）	59
有床義歯咀嚼機能検査（咬合圧測定）	12
床適合（間接法）軟質材料（1装置）	12
精密触覚機能検査	65
睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 1 印象採得・咬合採得	36
睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 1 装置の装着・調整	41
睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 2 印象採得・咬合採得	66
睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 2 装置の装着・調整	77
舌接触補助床 1 印象採得・咬合採得	16
舌接触補助床 1 装置の装着・調整	22
舌接触補助床 2 旧義歯を用いた場合 旧義歯の修正・調整	9
術後即時顎補綴装置（1顎につき）印象採得・咬合採得	15
術後即時顎補綴装置（1顎につき）装置の装着・調整	12
在宅等療養患者専門的口腔衛生処置（1口腔につき）	30
口腔粘膜処置（1口腔につき）	12
口腔粘膜血管腫凝固術	4
埋伏歯開窓術	30
レーザー機器加算 1	21
レーザー機器加算 2	4
レーザー機器加算 3	3
高強度硬質レジブリッジ（1装置につき）高強度硬質レジブリッジの形成（失活歯）	6
高強度硬質レジブリッジ（1装置につき）高強度硬質レジブリッジ内面処理加算	8
高強度硬質レジブリッジ（1装置につき）高強度硬質レジブリッジの装着	6
スライディングプレート（1装置につき）	9
牽引装置（1歯につき）	12
周術期専門的口腔衛生処置	108
合 計	1,120

表3 診療項目と時間計測範囲等

項目番号	歯科点数表の区分	診療項目名	保険点数	時間計測範囲
1	B011	診療情報連携共有文書作成	120	歯科診療を行うにあたり全身的な管理が必要な患者に対し、保険医療機関（歯科診療を行うものを除く。）で行った検査の結果、投薬内容等の診療情報の提供を求める文書の作成に要した時間 「当該別の保険医療機関に検査結果、投薬内容等について文書により提供を求めた場合に、医療機関ごとに患者1人につき3カ月に1回算定できる。」
2	C001-6	小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料	450	包括される処置・指導の準備から完了までに要した時間
3	M016-2	小児保隙装置の製作（クラウンループ）・（6歳未満の患者）	600	*完成した作業模型において、装置設計から製作完了までに要した時間
4	M016-2	小児保隙装置の製作（クラウンループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	600	*完成した作業模型において、装置設計から製作完了までに要した時間
5	M016-2	小児保隙装置の製作（バンドループ）・（6歳未満の患者）	600	*完成した作業模型において、装置設計から製作完了までに要した時間
6	M016-2	小児保隙装置の製作（バンドループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	600	*完成した作業模型において、装置設計から製作完了までに要した時間
7	M005	小児保隙装置の装着・（6歳未満の患者）	45	保隙装置の試適・調整後、セメント合着・余剰セメント除去までの時間
8	M005	小児保隙装置の装着・（6歳以上12歳未満の患者）	45	保隙装置の試適・調整後、セメント合着・余剰セメント除去までの時間
9	D011-2	咀嚼能力検査（口腔機能低下症における）	140	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
10	D011-3	咬合圧検査（口腔機能低下症における）	130	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
11	D012	舌圧検査（口腔機能低下症における）	140	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
12	D011	有床義歯咀嚼機能検査（下顎運動測定）	(420)	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
13	D011	有床義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力測定）	140	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
14	D011	有床義歯咀嚼機能検査（咬合圧測定）	130	検査の準備から検査結果が出るまでに要した時間
15	M030	床適合（間接法）軟質材料（1装置）	1430	*間接法による床裏装の操作完了、装着までに要した時間
16	D013	精密触覚機能検査	460	器材準備から検査、記録終了までに要した時間
17	I017-1-2	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置1 印象採得・咬合採得	513	器材準備から印象ならびに咬合採得に要した時間
18	I017-1-2	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置1 装置の装着・調整	300	器材準備から装置の装着・調整に要した時間
19	I017-1-2	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置2 印象採得・咬合採得	230	器材準備から印象ならびに咬合採得に要した時間
20	I017-1-2	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置2 装置の装着・調整	300	器材準備から装置の装着・調整に要した時間

\*印：技工室における技工操作が必要な項目

項目番号	歯科点数表の区分	診療項目名	保険点数	時間計測範囲
21	I017-1-3	舌接触補助床 1 印象採得・咬合採得	417	器材準備から印象ならびに咬合採得に要した時間
22	I017-1-3	舌接触補助床 1 装置の装着・調整	120	器材準備から装置の装着・調整に要した時間
23	I017-1-3	舌接触補助床 2 旧義歯を用いた場合 旧義歯の修正・調整	120	器材準備から旧義歯の修正・調整に要した時間
24	I017-1-4	術後即時顎補綴装置 (1 顎につき) 印象採得・咬合採得	417	器材準備から印象ならびに咬合採得に要した時間
25	I017-1-4	術後即時顎補綴装置 (1 顎につき) 装置の装着・調整	300	器材準備から装置の装着・調整に要した時間
26	I029-2	在宅等療養患者専門的口腔衛生処置 (1 口腔につき)	120	器材準備から処置終了までに要した時間
27	I029-3	口腔粘膜処置 (1 口腔につき)	30	器材準備から処置終了までに要した時間
28	J-035-2	口腔粘膜血管腫凝固術	2000	麻酔処置を含まない。器材の準備から手術、止血確認、片付けまでに要した時間
29	J-044-2	埋伏歯開窓術	2820	麻酔処置を含まない。器材の準備から手術、止血確認、片付けまでに要した時間
30	J-200-4-2	レーザー機器加算 1	50	レーザー機器の準備からレーザーによる処置、片付けまでに要した時間
31	J-200-4-2	レーザー機器加算 2	100	レーザー機器の準備からレーザーによる処置、片付けまでに要した時間
32	J-200-4-2	レーザー機器加算 3	200	レーザー機器の準備からレーザーによる処置、片付けまでに要した時間
33	M017-2	高強度硬質レジンプリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジンプリッジの形成 (失活歯)	636	支台歯形成の完了までに要した時間
34	M017-2	高強度硬質レジンプリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジンプリッジ内面処理加算	90	試適後の内面清掃、サンドブラスト処理、内面処理終了までの時間
35	M017-2	高強度硬質レジンプリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジンプリッジの装着	150	補綴物の試適・調整後、支台歯の表面処理、接着性レジンセメント合着・余剰セメントの除去・セメントの硬化、咬合関係の再点検を完了するまでに要した時間
36	N012-2	スライディングプレート (1 装置につき)	1500	*スライディングプレート製作に要した時間
37	N014-2	牽引装置 (1 歯につき)	500	製作・装着に要した時間
38	I029	周術期専門的口腔衛生処置	1 92 2 100	口腔内衛生状態の把握と専門的な処置に要した時間

\*印：技工室における技工操作が必要な項目

表 4 診療項目の所要時間

項目番号	診療項目	保険点数	件数	所要時間		
				平均値	標準偏差	中央値
1	診療情報連携共有文書作成	120	47	19.7	±17.3	15
2	小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料	450	21	44.8	±11.3	44
3	小児保険装置の製作（クラウンループ）・（6歳未満の患者）	600	9	57.4	±29.9	50
4	小児保険装置の製作（クラウンループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	600	20	69.0	±32.1	64
5	小児保険装置の製作（バンドループ）・（6歳未満の患者）	600	16	75.3	±47.5	55
6	小児保険装置の製作（バンドループ）・（6歳以上12歳未満の患者）	600	35	74.3	±40.3	60
7	小児保険装置の装着・（6歳未満の患者）	45	20	25.9	±11.3	24
8	小児保険装置の装着・（6歳以上12歳未満の患者）	45	40	22.8	±11.0	21
9	咀嚼能力検査（口腔機能低下症における）	140	73	8.7	±5.6	8
10	咬合圧検査（口腔機能低下症における）	130	38	9.7	±5.8	9
11	舌圧検査（口腔機能低下症における）	140	83	7.0	±4.2	6
12	有床義歯咀嚼機能検査（下顎運動測定）	(420)*	23	23.3	±22.1	13
13	有床義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力測定）	140	59	8.6	±8.0	6
14	有床義歯咀嚼機能検査（咬合圧測定）	130	12	8.7	±4.2	9
15	床適合（間接法） 軟質材料（1装置）	1430	12	123.8	±110.9	80
16	精密触覚機能検査	460	65	23.7	±11.8	25
17	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置1 印象採得・咬合採得	513	36	31.7	±13.6	28
18	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置1 装置の装着・調整	300	41	27.4	±15.3	27
19	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置2 印象採得・咬合採得	230	66	30.3	±20.4	27
20	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置2 装置の装着・調整	300	77	23.6	±15.6	20
21	舌接触補助床 1 印象採得・咬合採得	417	16	31.3	±16.9	35
22	舌接触補助床 1 装置の装着・調整	120	22	37.0	±15.2	40
23	舌接触補助床 2 旧義歯を用いた場合 旧義歯の修正・調整	120	9	33.0	±27.9	20
24	術後即時顎補綴装置（1顎につき） 印象採得・咬合採得	417	15	35.1	±18.1	27
25	術後即時顎補綴装置（1顎につき） 装置の装着・調整	300	12	46.8	±29.3	47
26	在宅等療養患者専門的口腔衛生処置（1口腔につき）	120	30	22.7	±6.9	23
27	口腔粘膜処置（1口腔につき）	30	12	24.0	±8.4	23
28	口腔粘膜血管腫凝固術	2000	4	29.5	±13.7	28
29	埋伏歯開窓術	2820	30	45.8	±22.5	41
30	レーザー機器加算 1	50	21	38.3	±11.5	40
31	レーザー機器加算 2	100	4	66.3	±59.8	43
32	レーザー機器加算 3	200	3	53.3	±20.2	50

項目番号	診療項目	保険点数	件数	所要時間		
				平均値	標準偏差	中央値
33	高強度硬質レジブリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジブリッジの形成 (失活歯)	636	6	32.0	±20.9	25
34	高強度硬質レジブリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジブリッジ内面処理加算	90	8	9.9	±6.7	8
35	高強度硬質レジブリッジ (1 装置につき) 高強度硬質レジブリッジの装着	150	6	17.2	±9.4	13
36	スライディングプレート (1 装置につき)	1500	9	168.4	±61.7	192
37	牽引装置 (1 歯につき)	500	12	39.2	±41.5	25
38	周術期専門的口腔衛生処置	1 92 2 100	108	30.6	±22.0	25

\*印：有床義歯咀嚼機能検査 1 (1 回につき)

下顎運動測定と咀嚼能力測定を併せて行う場合…560 点 (A)

咀嚼能力測定のみを行う場合……………140 点 (B)

(A) - (B) = 420 点

表5 診療項目の所要時間と保険診療報酬等

歯科点数 表の区分	項目番号	診療項目	保険点数	件数	平均所要 時間 (分)	1点当りの 時間 (分)	1点当りの 点数
B011	1	診療情報連携共有文書作成	120	47	19.7	0.16	6.1
C001-6	2	小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料	450	21	44.8	0.10	10.1
M016-2	3	小児保険装置の製作 (クラウンループ)・(6歳未満の患者)	900	9	57.4	0.10	10.4
M016-2	4	小児保険装置の製作 (クラウンループ)・(6歳以上12歳未満の患者)	600	20	69.0	0.12	8.7
M016-2	5	小児保険装置の製作 (バンドループ)・(6歳未満の患者)	900	16	75.3	0.13	8.0
M016-2	6	小児保険装置の製作 (バンドループ)・(6歳以上12歳未満の患者)	600	35	74.3	0.12	8.1
M005	7	小児保険装置の装着・(6歳未満の患者)	68	20	25.9	0.57	1.7
M005	8	小児保険装置の装着・(6歳以上12歳未満の患者)	45	40	22.8	0.51	2.0
D011-2	9	咀嚼能力検査 (口腔機能低下症における)	140	73	8.7	0.06	16.1
D011-3	10	咬合圧検査 (口腔機能低下症における)	130	38	9.7	0.07	13.4
D012	11	舌圧検査 (口腔機能低下症における)	140	83	7.0	0.05	19.9
D011	12	有床義歯咀嚼機能検査 (下顎運動測定)	(420)	23	23.3	0.06	18.0
D011	13	有床義歯咀嚼機能検査 (咀嚼能力測定)	140	59	8.6	0.06	16.3
D011	14	有床義歯咀嚼機能検査 (咬合圧測定)	130	12	8.7	0.07	15.0
M030	15	床適合 (間接法) 軟質材料 (1装置)	1430	12	123.8	0.09	11.6
D013	16	精密触覚機能検査	460	65	23.7	0.05	19.4
I017-1-2	17	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 1 印象採得・咬合採得	513	36	31.7	0.06	16.2
I017-1-2	18	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 1 装置の装着・調整	300	41	27.4	0.09	11.0
I017-1-2	19	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 2 印象採得・咬合採得	230	66	30.3	0.13	7.6
I017-1-2	20	睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 2 装置の装着・調整	300	77	23.6	0.08	12.7
I017-1-3	21	舌接触補助床 1 印象採得・咬合採得	417	16	31.3	0.08	13.3
I017-1-3	22	舌接触補助床 1 装置の装着・調整	120	22	37.0	0.31	3.2
I017-1-3	23	舌接触補助床 2 旧義歯を用いた場合 旧義歯の修正・調整	120	9	33.0	0.28	3.6
I017-1-4	24	術後即時顎補綴装置 (1顎につき) 印象採得・咬合採得	417	15	35.1	0.08	11.9
I017-1-4	25	術後即時顎補綴装置 (1顎につき) 装置の装着・調整	300	12	46.8	0.16	6.4
I029-2	26	在宅等療養患者専門的口腔衛生処置 (1口腔につき)	120	30	22.7	0.19	5.3
I029-3	27	口腔粘膜処置 (1口腔につき)	30	12	24.0	0.80	1.3
J-035-2	28	口腔粘膜血管腫凝固術	2000	4	29.5	0.01	67.8
J-044-2	29	埋伏歯開窓術	2820	30	45.8	0.02	61.5

※ 各数値は高い精度で計算後に四捨五入しているため、表中の数値のみで計算すると誤差が生じます。

歯科点数表の区分	項目番号	診療項目	保険点数	件数	平均所要時間 (分)	1点当りの時間 (分)	1点当りの点数
J-200-4-2	30	レーザー機器加算1	50	21	38.3	0.77	1.3
J-200-4-2	31	レーザー機器加算2	100	4	66.3	0.66	1.5
J-200-4-2	32	レーザー機器加算3	200	3	53.3	0.27	3.8
M017-2	33	高強度硬質レジンブリッジ (1装置につき) 高強度硬質レジンブリッジの形成 (失活歯)	636	6	32.0	0.05	19.9
M017-2	34	高強度硬質レジンブリッジ (1装置につき) 高強度硬質レジンブリッジ内面処理加算	90	8	9.9	0.11	9.1
M017-2	35	高強度硬質レジンブリッジ (1装置につき) 高強度硬質レジンブリッジの装着	150	6	17.2	0.11	8.7
N012-2	36	スライディングプレート (1装置につき)	1500	9	168.4	0.11	8.9
N014-2	37	牽引装置 (1歯につき)	500	12	39.2	0.08	12.8
I029	38	周術期専門的口腔衛生処置	1 92 2 100	108	30.6	0.33 0.31	3.0 3.3

※ 各数値は高い精度で計算後に四捨五入しているため、表中の数値のみで計算すると誤差が生じます。

## 参考 保険診療報酬評価（人件費を加味した評価）

人件費を考える場合は、歯科医師の給与と技術の難易度を考慮しなくてはならない。

基本的には外保連試案 2020 の考え方、およびタイムスタディー調査 2016 年度版に準じた。

歯科医師の給与は「経験年数」に応じたものとし、経験年数 1 年の歯科医師の給与を 1 とし、それに対する比率を「給与指数」とした。

技術度は A-1 の処置に対しての比率「技術年数」として、増加させた。

「経験年数指数」＝「給与指数」×「技術度指数」であり、これにより、単位時間人件費（円/分）を求めた。

技術度	経験年数	給与指数	技術度区分	技術度指数	経験年数指数	単位時間 人件費（円/分）
A	1 年	1.000	A-1	1.000	1.000	110
			A-2	1.167	1.334	146
B	3 年	1.226	B-1	1.334	1.635	179
			B-2	1.501	1.840	201
C	5 年	1.546	C-1	1.668	2.579	282
			C-2	2.086	3.224	353
D	10 年	1.733	D-1	2.503	4.340	475
			D-2	2.921	5.065	555
E	15 年	1.733	E-1	3.338	5.788	634
			E-2	3.756	6.503	712

## 解説

外保連試案 2020（2019 年 11 月）では医師の人件費は国家公務員医療職俸給表（一）によって計算されている。各種手当や賞与も計算に入れてある。国家公務員医療職俸給表（一）は医師・歯科医師が対象であるので、最新の 2018 年度国家公務員医療職俸給表（一）を用いた。

外保連では  
年数区分

- 1 年 A 初期臨床研修医：俸給表 1-1
- 5 年 B 初期臨床研修修了者：俸給表 1-17
- 10 年 C 基本領域の専門医：俸給表 2-17
- 15 年 D Subspecialty 領域の専門医、基本領域の専門医更新者、指導医取得者：俸給表 3-13
- 15 年 E 特殊技術を有する専門医：俸給表 3-13 となっている。

一方、今回のタイムスタディでは、

技術度 年数

- A 1年
- B 3年
- C 5年
- D 10年
- E 15年 であるので、

技術度 年数

- A 1年：俸給表 1-1：247,900円：給与指数 1.000
- B 3年：俸給表 1-17：303,900円：給与指数 1.226
- C 5年：俸給表 2-17：383,200円：給与指数 1.546
- D 10年：俸給表 3-13：429,900円：給与指数 1.734
- E 15年：俸給表 3-13：429,900円：給与指数 1.734 とした。

一方、技術度は

外保連（手術）では、

区分

- A 1.000
- B 3.000
- C 5.500
- D 8.000
- E 12.000 となっており、経験年数1年につき0.5増やしてある。

処置試案や検査試案では、経験年数1年につき0.167増やしてある。

---

参考：外保連試案の解説

#### 7. 技術度指数

外科医の技術は修練と努力により日々向上する。しかし、給与指数で見ると初任医師（修練開始後1年）が10年を経ても約1.6倍にしかならず、技術の向上に見合うだけの報酬が算定されていない。実際には個人差はあるにしても数倍の技術力を体得しているはずである。そこで、給与指数を技術力に近い指数に補完するために設けられたのが技術度指数である。

技術度指数は修練開始1年を1とした。この技術度は、手術、処置、生体検査で技術の関与する割合が異なることから、各委員会で合理的かつ現実的な技術度指数を採用することとした。手術試案では、経験年数1年ごとに0.5ずつ上げることとし、処置・生体検査試案では各群毎に0.167ずつ上げることとしたが、全試案を過してE群はD群の1.5倍とすることとした。

---

歯科では、手術というよりも処置・検査に近いので、1年で0.167上げることにした。

そうすると

技術度は、

区分

A	1.000
B	1.334
C	1.668
D	2.503
E	3.338 となる。

さらに各群の1、2（軽、重）の2区分については、「2重」は「1軽」より技術度をABでは1年分、CDEでは2.5年分上げた。

経験年数指数 = 給与指数 × 技術度指数であるから、

区分

A 1	$1.000 \times 1.000 = 1.000$	A 2	$1.000 \times 1.167 = 1.334$
B 1	$1.226 \times 1.334 = 1.635$	B 2	$1.226 \times 1.501 = 1.840$
C 1	$1.546 \times 1.668 = 2.579$	C 2	$1.546 \times 2.086 = 3.224$
D 1	$1.734 \times 2.503 = 4.340$	D 2	$1.734 \times 2.921 = 5.065$
E 1	$1.734 \times 3.338 = 5.788$	E 2	$1.734 \times 3.756 = 6.503$ となる。

医師の基本（区分 A）の単位時間人件費が6,570円（1時間あたり）であるので、歯科医師の単位時間（分）あたりの人件費は以下の様になる。

区分

A 1	110	A 2	146
B 1	179	B 2	201
C 1	282	C 2	353
D 1	475	D 2	555
E 1	634	E 2	712円 となる。

今回の計測では、1つの保険医療行為を分離して計測しているので、以下の例のように組み合わせることと、一連の医療行為の総時間数および必要な人件費を算定する。

例) 小児歯科：クラウンループ6歳 141.5分 (815点) の内訳

表面麻酔 2.3分 + 浸潤麻酔 4.7分 + ラバーダム防湿 2.7分 + 生活歯の歯冠形成 (乳歯金属冠) 15.8分 + 印象採得 (単純) 6.0分 + 咬合採得 1.0分 + 術後説明 3.4分 + 診療録記載 5.2分 + クラウンループ製作 69.0分 + クラウンループ装着 22.8分 + 術後説明 3.4分 + 診療録記載 5.2分

## 参考 代表的な一連の歯科医療行為の総所要時間と保険診療報酬評価 (人件費を加味した評価)

今回の計測では、1つの保険医療行為を分離して計測しているもので、以下の例のように組み合わせることで、一連の医療行為の総時間数を算定する。

なお、点数の合計は請求点数とはならない。網掛けは保険請求できない。

\*アシスタントの人件費は含まれていないことに注意。

歯科診療行為のタイムスタディー調査 2019 年度版（中間調査）に無い項目は 2016 年度版の結果を用いた。

### 小児歯科

クラウンループ 6歳以上 12歳未満

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経年指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
11-016	表面麻酔	-	134	2.3	A2	1.334	146	336
11-017	浸潤麻酔	-	135	4.7	B2	1.840	201	945
11-046	ラバーダム防湿	-	82	2.7	B1	1.635	179	483
11-034	生活歯の歯冠形成（乳歯金属冠）	120	5	15.8	D1	4.340	475	7,505
11-038	乳歯金属冠製作	-	12	10.8	D1	4.340	475	5,130
11-057	印象採得（単純）	32	10	7.5	B2	1.840	201	1,508
11-060	咬合採得	18	5	2.6	B2	1.840	201	523
11-061	作業模型作成	-	6	17.3	A2	1.334	146	2,526
11-045	技工指示書の記載	-	2	5.0	B2	1.840	201	1,005
11-111	術後説明	-	260	3.4	B2	1.840	201	685
11-118	診療録記載	-	374	5.2	B1	1.635	179	928
4	クラウンループ製作※	600	20	69.0	D1	4.340	475	32,775
8	クラウンループ装着※	45	40	22.8	C2	3.224	353	8,048
11-111	術後説明	-	260	3.4	B2	1.840	201	685
11-118	診療録記載	-	374	5.2	B1	1.635	179	928

※タイムスタディー 2019

請求点数	815	総時間	177.7 分	総人件費	64,010 円
		点数/分	4.6 点/分	保険請求	8,150 円
		分/点数	0.22 分/点		

クラウンループ 6歳未満

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
11-016	表面麻酔	-	72	2.0	A2	1.334	146	292	
11-017	浸潤麻酔	-	73	3.3	B2	1.840	201	663	
11-046	ラバーダム防湿	-	96	3.3	B1	1.635	179	591	
11-034	生活歯の歯冠形成(乳歯金属冠)	180	7	9.3	D1	4.340	475	4,418	
11-038	乳歯金属冠製作	-	18	9.6	D1	4.340	475	4,560	
11-057	印象採得(単純)	48	3	6.0	B2	1.840	201	1,206	
11-060	咬合採得	27	2	1.0	B2	1.840	201	201	
11-061	作業模型作成	-	4	10.0	A2	1.334	146	1,460	
11-045	技工指示書の記載	-	1	10.0	B2	1.840	201	2,010	
11-111	術後説明	-	208	3.5	B2	1.840	201	704	
11-118	診療録記載	-	317	5.1	B1	1.635	179	913	
3	クラウンループ製作※	900	9	57.4	D1	4.340	475	27,265	
7	クラウンループ装着※	68	20	25.9	C2	3.224	353	9,143	
11-111	術後説明	-	208	3.5	B2	1.840	201	704	
11-118	診療録記載	-	317	5.1	B1	1.635	179	913	
		請求点数	1223	総時間 点数/分 分/点数	155.0 7.9 0.13	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	55,041 12,230	円 円

※タイムスタディ 2019

バンドループ 6歳以上12歳未満

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
	バンド試適			不明					
11-057	印象採得(単純)	32	10	7.5	B2	1.840	201	1,508	
11-061	作業模型作成	-	6	17.3	A2	1.334	146	2,526	
11-045	技工指示書の記載	-	2	5.0	B2	1.840	201	1,005	
11-111	術後説明	-	260	3.4	B2	1.840	201	685	
11-118	診療録記載	-	374	5.2	B1	1.635	179	928	
6	バンドループ製作※	600	35	74.3	D1	4.340	475	35,293	
8	クラウンループ装着※	45	40	22.8	C2	3.224	353	8,048	
11-111	術後説明	-	260	3.4	B2	1.840	201	685	
11-118	診療録記載	-	374	5.2	B1	1.635	179	928	
		請求点数	677	総時間 点数/分 分/点数	144.1 4.7 0.21	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	51,606 6,770	円 円

※タイムスタディ 2019

バンド試適時間含まず

バンドループ 6歳未満

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
	バンド試適			不明					
11-057	印象採得(単純)	48	3	6.0	B2	1.840	201	1,206	
11-061	作業模型作成	-	4	10.0	A2	1.334	146	1,460	
11-045	技工指示書の記載	-	1	10.0	B2	1.840	201	2,010	
11-111	術後説明	-	208	3.5	B2	1.840	201	704	
11-118	診療録記載	-	317	5.1	B1	1.635	179	913	
5	バンドループ製作※	900	16	75.3	D1	4.340	475	35,768	
7	クラウンループ装着※	68	20	25.9	C2	3.224	353	9,143	
11-111	術後説明	-	208	3.5	B2	1.840	201	704	
11-118	診療録記載	-	317	5.1	B1	1.635	179	913	
		請求点数	1016	総時間 点数/分 分/点数	144.4 7.0 0.14	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	52,819 10,160	円 円

※タイムスタディ 2019

バンド試適時間含まず

## 高齢者

### 口腔機能低下症

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
10	咬合圧検査（口腔機能低下症）※	130	38	9.7	B2	1.840	201	1,950
9	咀嚼能力検査（口腔機能低下症）※	140	73	8.7	B1	1.635	179	1,557
11	舌圧検査（口腔機能低下症）※	140	83	7.0	C1	2.579	282	1,974
	その他の4検査	-		不明				
03-091	歯科疾患管理（文書交付有り）	110	439	5.5	B1			
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038
※タイムスタディ 2019		請求点数	390	総時間 点数/分	39.9 分 9.8 点/分		総人件費 保険請求	7,162 円 3,900 円
		検査は2つのみ算定可		分/点数	0.10 分/点		その他の4検査時間含まず	

### 舌接触補助床1（新製）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
21	舌接触補助床1 印象採得・咬合採得※	417	16	31.3	C2	3.224	353	11,049
04-016	最終印象 作業用模型製作	-	62	16.9	B2	1.840	201	3,391
04-028	技工指示書の記載	-	195	4.4	B2	1.840	201	879
04-054	術後指導（義管・義調算定しないとき）	-	127	3.4	B1	1.635	179	606
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967
22	舌接触補助床1 装置の装着・調整※	120	22	37.0	D1	4.340	475	17,575
04-054	術後指導	-	127	3.4	B1	1.635	179	606
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967
※タイムスタディ 2019		請求点数	537	総時間 点数/分	107.1 分 5.0 点/分		総人件費 保険請求	36,038 円 5,370 円
				分/点数	0.20 分/点			

### 舌接触補助床2（旧義歯）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
23	舌接触補助床2 旧義歯を用いた場合 旧義歯の修正・調整※	120	9	33.0	D1	4.340	475	15,675
04-054	術後指導	-	127	3.4	B1	1.635	179	606
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967
※タイムスタディ 2019		請求点数	120	総時間 点数/分	41.8 分 2.9 点/分		総人件費 保険請求	17,247 円 1,200 円
				分/点数	0.35 分/点			

## 義歯

### 義歯咀嚼機能検査（下顎運動+咀嚼能力）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
12	有床義歯咀嚼機能検査（下顎運動）※	420	23	23.3	B2	1.840	201	4,683
13	有床義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力）※	140	59	8.6	B1	1.635	179	1,539
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038
※タイムスタディ 2019		請求点数	560	総時間 点数/分	40.9 分 13.7 点/分		総人件費 保険請求	7,904 円 5,600 円
		420=560-140		分/点数	0.07 分/点			

義歯咀嚼機能検査（下顎運動+咬合圧）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
12	有床義歯咀嚼機能検査（下顎運動）※	420	23	23.3	B2	1.840	201	4,683
14	有床義歯咀嚼機能検査（咬合圧）※	130	12	8.7	B2	1.840	201	1,749
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038
※タイムスタディ 2019		請求点数 420=560-140	550	総時間 41.0 分 点数/分 13.4 点/分 分/点数 0.07 分/点			総人件費 8,113 円 保険請求 5,500 円	

義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
13	有床義歯咀嚼機能検査（咀嚼能力）※	140	59	8.6	B1	1.635	179	1,539
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038
※タイムスタディ 2019		請求点数 420=560-140	140	総時間 17.6 分 点数/分 8.0 点/分 分/点数 0.13 分/点			総人件費 3,221 円 保険請求 1,400 円	

義歯咀嚼機能検査（咬合圧）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
14	有床義歯咀嚼機能検査（咬合圧）※	130	12	8.7	B2	1.840	201	1,749
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038
※タイムスタディ 2019		請求点数 420=560-140	130	総時間 17.7 分 点数/分 7.3 点/分 分/点数 0.14 分/点			総人件費 3,430 円 保険請求 1,300 円	

床適合（間接法） 軟質材料

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)
04-038	義歯修理・床適合用印象 連合印象	230	26	9.0	C1	2.579	282	2,538
04-016	最終印象 作業用模型製作	-	62	16.9	B2	1.840	201	3,391
04-018	補綴時診断（新製の場合）	90	172	6.7	C2	3.224	353	2,365
04-028	技工指示書の記載	-	195	4.4	B2	1.840	201	879
04-054	術後指導（義管・義調算定しないとき）	-	127	3.4	B1	1.635	179	606
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967
15	床適合（間接法） 軟質材料※	1430	12	123.8	D2	5.065	555	68,709
04-051	歯科口腔リハビリテーション料1（困難）	124	197	11.8	B2	1.840	201	2,372
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967
※タイムスタディ 2019		請求点数 1874	総時間 186.7 分 点数/分 10.0 点/分 分/点数 0.10 分/点			総人件費 82,792 円 保険請求 18,740 円		

## 術後即時顎補綴装置

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
24	術後即時顎補綴装置 印象採得・咬合採得※	417	15	35.1	E1	5.788	634	22,253	
04-016	最終印象 作業用模型製作	-	62	16.9	B2	1.840	201	3,391	
04-018	補綴時診断 (新製の場合)	90	172	6.7	C2	3.224	353	2,365	
04-028	技工指示書の記載	-	195	4.4	B2	1.840	201	879	
04-054	術後指導 (義管・義調算定しないとき)	-	127	3.4	B1	1.635	179	606	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
25	術後即時顎補綴装置 装置の装着・調整※	300	12	46.8	D1	4.340	475	22,230	
04-051	歯科口腔リハビリテーション料1 (困難)	124	197	11.8	B2	1.840	201	2,372	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
※タイムスタディ 2019		請求点数	931	総時間 点数/分 分/点数	135.8 6.9 0.15	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	56,029 9,310	円

## 口腔外科

## 精密触覚機能検査

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
16	精密触覚機能検査※	460	65	23.7	D2	5.065	555	13,154	
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643	
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038	
※タイムスタディ 2019		請求点数	460	総時間 点数/分 分/点数	32.7 14.1 0.07	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	14,835 4,600	円

## 睡眠時無呼吸 (装置1)

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
17	口腔内装置1 印象採得・咬合採得※	513	36	31.7	C2	3.224	353	11,190	
04-016	最終印象 作業用模型製作	-	62	16.9	B2	1.840	201	3,391	
04-028	技工指示書の記載	-	195	4.4	B2	1.840	201	879	
04-054	術後指導 (義管・義調算定しないとき)	-	127	3.4	B1	1.635	179	606	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
18	口腔内装置1 装置の装着・調整※	300	41	27.4	D1	4.340	475	13,015	
04-054	術後指導	-	127	3.4	B1	1.635	179	606	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
※タイムスタディ 2019		請求点数	813	総時間 点数/分 分/点数	97.9 8.3 0.12	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	31,619 8,130	円

## 睡眠時無呼吸（装置2）

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
19	口腔内装置2 印象採得・咬合採得※	230	66	30.3	C2	3.224	353	10,696	
04-016	最終印象 作業用模型製作	-	62	16.9	B2	1.840	201	3,391	
04-028	技工指示書の記載	-	195	4.4	B2	1.840	201	879	
04-054	術後指導（義管・義調算定しないとき）	-	127	3.4	B1	1.635	179	606	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
20	口腔内装置2 装置の装着・調整※	300	77	23.6	D1	4.340	475	11,210	
04-054	術後指導	-	127	3.4	B1	1.635	179	606	
04-058	診療録記載	-	1052	5.4	B1	1.635	179	967	
※タイムスタディ 2019		請求点数	530	総時間 点数/分 分/点数	92.7 5.7 0.17	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	29,320 5,300	円 円

## 口腔粘膜処置

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
27	口腔粘膜処置※	30	12	24.0	C1	2.579	282	6,768	
03-090	術後説明	-	548	3.2	B2	1.840	201	643	
03-097	診療録記載	-	1122	5.8	B1	1.635	179	1,038	
※タイムスタディ 2019		請求点数	30	総時間 点数/分 分/点数	33.0 0.9 1.10	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	8,449 300	円 円

## レーザー機器加算 1

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
30	レーザー機器加算 1 ※	50	21	38.3	D1	4.340	475	18,193	
※タイムスタディ 2019		請求点数	50	総時間 点数/分 分/点数	38.3 1.3 0.77	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	18,193 500	円 円

## 埋伏歯開窓術

番号	項目	点数	件数	平均時間 (分)	技術度	経験年数 指数	単位時間 人件費 (円/分)	人件費 (円)	
06-010	表面麻酔	-	472	2.8	A2	1.334	146	404	
06-011	浸潤麻酔	30	799	5.5	B2	1.840	201	1,110	
29	埋伏歯開窓術※	2820	30	45.8	E1	5.788	634	29,037	
06-077	術後説明	-	689	4.2	B2	1.840	201	850	
06-092	診療録記載	-	885	6.4	B1	1.635	179	1,143	
※タイムスタディ 2019		請求点数	2820	総時間 点数/分 分/点数	64.7 43.6 0.02	分 点/分 分/点	総人件費 保険請求	32,544 28,200	円 円

## [留意事項]

今回のタイムスタディー調査は日本歯科医学会が中医協等関係方面における技術評価に係る提案書等に資する資料を作成することを目的に実施したものです。今後この資料は歯科診療報酬改定に資するために関係方面でいろいろと活用される重要なものであります。

したがって、本報告書に掲載してあるデータを本来の目的以外に加工されますと本報告書の数値と乖離が生じてしまいます。学術論文や学会発表等に独自のさまざまな加工データを公表することはご遠慮下さい。